

葛飾支部活動報告書

かつしか支部

発行責任者

(公社)東京都柔道整復師会

葛飾支部長 有馬宏昌

当支部は(公社)東京都柔道整復師会の支部組織として、毎年様々な活動を行っております。元々は葛飾区柔道接骨師会として70年以上前から会員一同、葛飾区民の健康増進に微力ながら協力して参りました。当支部の活動は日々の施術以外には大きく分けて防災・救護と休日当番院への協力があります。その活動の一部をご紹介します。

○防災・救護

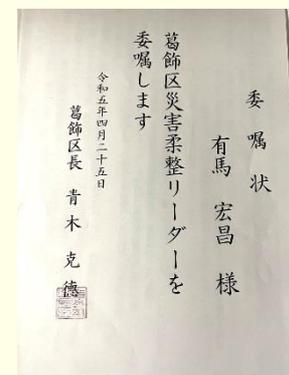
トリアージ講習会参加

当支部は、葛飾区及び東京都で行われる医療救護訓練に毎年参加させて頂いております。その中で、平成立石病院 院長 大桃丈知先生のご厚意により、当支部会員に対しトリアージ講習会を開催して頂きました。基本的な内容からわかりやすくご講義頂き、実際に模擬トリアージも行ったことで参加者はトリアージに対する理解を深めることが出来ました。



葛飾災害柔整リーダー委嘱

令和5年4月、葛飾区より東京都内で初の「葛飾災害柔整リーダー」を委嘱されました。これにより区内の災害時に於ける組織の中に柔道整復師が正式に組み込まれることとなりました。



東京都災害医療図上訓練

先の葛飾災害柔整リーダーとして、東京都災害医療図上訓練に参加しました。これは「首都直下地震が発生した」という想定の下、災害発生から12時間経過し、医療救護活動拠点を設置した上で各医療コーディネーターが参集、ライフラインや避難・救護所の状況確認や交通機関の状態の把握等、災害時に於ける対策本部の稼働訓練を行いました。これは後日行われた大規模な医療救護訓練の事前訓練とも言えます。有馬支部長が当支部代表として参加して参りました。



かつしかふれあいRUNフェスタ 救護

当支部では2017年の第3回大会からコース上にて、医師ブースと協力しながらランナーへの救護活動を行っています。完走を目指すランナーのお手伝いをすべく、迅速な処置を心掛けています。



令和5年度 葛飾区医療救護訓練及び振り返り会

令和5年10月22日(日) 葛飾区堀切地区周辺にて葛飾医療救護訓練が行われました。今回の訓練は従来のものとは違い、対策本部と4つの病院を中心に複数箇所の救護所を開設し、警察や自衛隊にも協力頂きながらそれぞれで救護活動を行うという大規模な訓練となりました。当支部は対策本部と3か所の救護所に人員を配置し、訓練に参加致しました。

我々柔道整復師は非観血という制限があるものの、一部外傷の処置を行うことが可能な資格です。また、身近な物を代替にした固定法や、徒手による施術が可能な場合もあり、物資が不足しがちな災害現場に於いては外傷処置の一端を担うことで、現場の医師の負担を僅かなりとも減らせるのではと思います。全体としてはまだまだ至らない点は多く、今後も継続した訓練が必要だと痛感しました。

後日開催された葛飾区主催の振り返り会に於いては、参加した医師から「柔整の先生達の参加が多く、外傷処置を任せられたので医師のリソースを他に割くことができた」との評価を頂きました。他にも今回訓練の運営を担当された区職員の方と今後の防災体制や準備・備品に関して意見交換をすることができました。

奇しくも令和6年元旦に石川県中心に大規模な地震が発生致しました。今後も当支部は葛飾区及び医師会と協力し、有事に備えていきたいと思っております。



○休日当番院への協力

当支部活動のもう一つの柱である休日当番への参加協力です。これは平成7年からの約30年に亘り、葛飾区休日接骨師連合会の名称で葛飾区の休日当番院制度に協力させて頂いております。連休中や年末年始は利用者も多く、時には葛飾区だけでなく近隣の区からの利用者も訪れ、年間900~1000人の方にご利用頂いております。

・接骨こぼれ話・

先日の元旦のこと、あるご家庭で東京に里帰り中のお孫さんが肘関節脱臼を起こしました。病院を探すもどこも休診でほとんど困っていたところ、友人から「あそこの先生なら時間外でも受けてくれるかもしれない」と紹介され、休日当番の時間外に来院されたそうです。脱臼は無事整復され、ご家族の笑顔と感謝がいっぱい。接骨院やっていたよかったです！

とのことでした。

これは当支部三浦会員よりシェアして頂いたお話です。当支部は今後も我々の技術が地域の方々の役に立てる様、活動して参ります。

今後の行事・イベント

3/10 (日)	かつしかふれあい RUN フェスタ 救護参加
-------------	------------------------

東京都柔道整復師会 葛飾支部HP

あなたのお近くの接骨院・整骨院の団体です

(公社)東京都柔道整復師会 葛飾支部

